

平成26年度 上河内中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【校是 よく学び よく鍛えよ】

☆ めざす生徒像

- ・ 学び鍛える生徒
- ・ 自他を尊ぶ生徒
- ・ 気力あふれる生徒

☆ めざす教師像

- ・ 愛と情熱にあふれる教師
- ・ 研きあう教師
- ・ 実践する教師

☆ めざす学校像

- ・ 楽しく学びあえる学校
- ・ 協に伸びる学校
- ・ 信頼される学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- 生徒の「生きる力」を育成するために個に応じた教育を進め、地域に根ざした活動を展開し、豊かな人間性、確かな学力、健康や体力の育成に努める。
- 教育目標の具現化をめざし、全教職員が意欲と使命感を持って学校経営に参画し、生徒や保護者等の信頼や期待に応える学校づくりに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学力の向上をめざして
 - ・ 魅力ある（わかる・できる・つかう・つくる）授業の実践
 - 基礎的・基本的な事項の確実な定着と知識・技能を活用する学習活動の充実
 - ・ 家庭学習の充実
- (2) 豊かな心の育成をめざして
 - ・ 体験活動を踏まえた道德教育の推進
 - ・ 心に響く道德の授業の工夫
 - ・ 教育環境の整備と充実（見て、聞いて、活動して、考えさせる環境）
 - 夢と希望に向かって力強く歩む生徒の育成（よさの伸長・自信の育成）
- (3) 健康と体力の増進をめざして
 - 食育等の健康教育の推進
 - ・ 進んで運動に取り組む生徒の育成
 - ・ 部活動の充実
- (4) 特別支援教育の充実をめざして
 - ・ 障がい特性の理解と適切な支援方法の獲得
 - ・ 校内委員会を中心とした組織的な支援の工夫
 - ・ 保護者や関係機関と連携した支援
- (5) 教職員としての資質・能力の向上をめざして
 - ・ 授業力向上プロジェクトの研究テーマにそった授業公開による授業力と同僚性の向上
 - ・ 全校体制での授業研究の実施と現職教育の充実
 - ・ 教職員個々の目標を明確にした職務の遂行
- (6) 保護者・地域との連携強化をめざして
 - ・ 地域に開かれ、愛される学校づくりの推進
 - ・ 地域の教育力の積極的な活用
- (7) 小中一貫教育と地域学校園の取組の充実をめざして
 - 小学校と連携した上河内地域学校園としての活動の推進
 - ・ 運営会議・部会・分科会・教科部会における取組の検討と拡充

【上河内地域学校園教育ビジョン】

たくましいゆずっ子の育成

～基本を身につけ、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】	・生徒一人一人を大切にし、個に応じた教育の推進 ・教職員としての資質、能力の向上をめざした取組の実施
【学 習 指 導】	・「生きる力」「確かな学力」を持ち、自立できる生徒の育成 ○小中乗り入れ授業を通して、地域学校園としての授業のあり方研究
【道徳教育（児童生徒指導）】	・体験活動を踏まえた道徳教育の推進 ○基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守って行動する生徒の育成
【健康（保健安全・食育）・体力】	○地域の特色を生かした食育の取組 ○体力増強、健康増進の取組 ・生涯にわたって自ら積極的に健康な生活を営む生徒の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	①入学式、卒業式を中心とした生徒主体で心を揺さぶる厳粛な儀式を実施する。 ②諸活動における生徒の自主的活動の場や機会を意図的に推進する。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 91.6% ・入学式や開校記念式典等で厳粛な雰囲気の中で行われた。 ・諸活動において生徒達は真面目に取り組んでいるが、自主的に活動するためには教師の支援が必要である。 【次年度の方針】 ・行事や活動の目的や趣旨を十分に理解させ、さらに充実したものにするため生徒に考える機会を数多く作りながら行っていく。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	①校内研修の充実、校外研修の共有化を図りながら、実践する教師を目指す。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 93.7% ・校内研修、校外研修に熱心に取り組むことができた。 ・お互いの授業を見て学び合い、授業の工夫改善を行うことができた。 【次年度の方針】 ・他の授業や研修会で学んだことを生かし、さらに授業の工夫改善を行っていく。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①継続的な日記指導により、生徒の立場に立った共感的な理解と対応を行う。 ②生徒と対話のできる関係と雰囲気づくりを推進する。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 82.7% ・継続的な生活ノート指導や教育相談などを行い、生徒と良好な関係や雰囲気を心がけ、心のケアに努めた。 【次年度の方針】 ・今後も一人ひとり丁寧な指導に当たっていく。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①個を大切にした少人数指導の工夫と、特別支援教育の推進を行う。 ②課題について、生徒が十分に考える時間の確保を図る。	A	【達成状況】生徒の肯定的回答 87.3% ・公開授業などにより教員の技術向上が図られている。 ・かがやきルームを利用する生徒が増え、個別化の充実が図られた。 【次年度の方針】 ・本校の生徒の実態に応じた教材やプリントの工夫が必要である。 ・個別指導の場面を意図的に設け、きめ細やかな指導をさらに努める。 ・発言の場を意図的に持ち、自尊感情を高めるようにする。

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に教えてくれる」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①学校いじめ防止基本方針を徹底する。 ②職員間の「ホウ・レン・ソウ」をしっかりと行い、防止対策・初期対応を丁寧に実施する。	B 【達成状況】生徒の肯定的回答 90.3% ・学校いじめ防止基本方針の職員への周知を徹底し、組織でいじめ(防止も含む)に対応できた。 【次年度の方針】 ・学校いじめ防止基本方針を HP にアップしたが、そのことの周知を保護者や生徒にも行う。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①生徒・保護者・教職員による授業・行事の評価を実施し、課題について改善を図る。	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 97.6% ・日課、授業、学校行事等は、教育課程に則って適切に実施されている。 【次年度の方針】 ・今年度同様、日課、授業、学校行事等、教育課程に基づいて適切に実施する。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①学校、学年、学級だよりによる適切な情報発信と、定期的な発行を行う。	A 【達成状況】保護者の肯定的回答 94.4% ・各種便りが機能的に働き、開かれた学校づくりに十分貢献している。 【次年度の方針】 ・保護者会時に授業参観を可能な限り実施する。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①上河内中学校地域協議会の効果的な活用を推進する。	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 90.2% ・上河内中学校地域協議会との連携をうまく図ることができた。草むしりや登校指導・下校指導等も協力して行われた。 【次年度の方針】 ・上河内中学校地域協議会との連携を維持し、地域学校園の活動をさらに発展させる可能性を模索していく。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、清掃がしっかり行われ学習しやすい」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①清掃・美化活動の充実を図るとともに、教室・校内の掲示物の整備をする。 ②施設・設備の点検・修理を迅速に実施する。	B 【達成状況】生徒の肯定的回答 85.7% ・基本的な教室環境を抑えながら、学級独自の工夫がなされていた。 ・校内点検、修理は迅速適切に行われていた。 【次年度の方針】 ・委員会活動等を活用して、自分たちの学校を自分たちで美しくという意識を啓発していく。
B 1 学校全体で心の教育の充実に努めている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、思いやりをもって生活している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①道徳の授業の充実を図る。 ②スクールカウンセラーとの連携を密に取り有効活用を行う。	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 84.8% ・スクールカウンセラーとの連携を取り、有効活用が図れた。 ・道徳の授業は今後も継続して行っていく。 【次年度の方針】 ・学校行事後や題材を重点化して道徳の授業を計画していく。 ・継続して教育相談や特別支援教育関係の職員を中心に、連携を図っていく。

教育活動の状況	生活	A10 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①生徒会や全教職員・PTAによるあいさつ運動を推進する。	A	【達成状況】保護者の肯定的回答 77.3% ・あいさつ運動だけでなく、普段の生活でも呼びかけてきたことが成果として表れている。 【次年度の方針】 ・あいさつ運動や呼びかけを今後も継続していく。
		A11 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①時と場に応じた言葉遣いができるように指導の工夫を図る。	A	【達成状況】保護者の肯定的回答 72.7% ・昨年度よりも、肯定的回答の割合は上がっている。TPOを考えた言葉遣いには、課題が多い。 【次年度の方針】 ・学校は公の場でもあるので正しい言葉遣いをすべきことを根気強く指導していく。 ・普段の会話の中で、「親しき中にも礼儀あり」を守り生徒の話を聞いたり、相手の気持ちをくみ取れない言葉を使ったり、正しい言葉遣いがない場合には、毅然と指導する。
		B2 生徒指導の充実・強化に努めている。 【数値指標】全体アンケートの「教職員はよいところは認め指導すべきことはしっかり指導している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①基本的な生活習慣の確立を目指した指導の充実を図る。 ②生徒の規範意識を育成する指導の充実を図る。	B	【達成状況】保護者の肯定的回答 86.1% ・基本的な生活習慣や規範意識を育成することはできた。 ・定期的な生徒指導部会の開催はトラブル防止の一助となるなど有効である。 【次年度の方針】 ・全教職員が情報交換を密にし、共通理解を図るなど一枚岩になって指導に当たる。 ・教師側の高い情報収集力と粘り強い指導を充実させる。
	健康・体力	A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」⇒生徒の肯定的回答 70%以上	①昼休みの体を動かした過ごし方について生徒会を中心に話し合い、ルール決めや、スポーツ用品の準備をする。 ②運動部を充実させ、生徒の体力向上を図る。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 63.3% ・昨年よりも外で遊ぶ生徒が増えてきたが、学年、男女によって差がある。 ・運動部では、体力の向上を目指して活動しており、生徒も積極的に参加している。 【次年度の方針】 ・休み時間の過ごし方がうまくできない生徒には外で遊ぶように指導する。 ・外で仲間と遊ぶ楽しさを体験させる機会を持つ。
		A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①学級活動、PTA食育研修会、親子調理教室などで、健康保持・増進の食事について正しい理解を図る。 ②学級懇談、保護者会で食育活動推進の協力依頼をする。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 72.0% ・給食指導・学級指導・家庭科・保健体育・お弁当の日などでバランスよく食べることの大切さを指導しているが、理解が不十分で食生活が改善できない生徒がいる。 【次年度の方針】 ・今後も継続して食と健康について実感を深めるような指導をしていきたい。
		B3 健康・体力の維持・増進に努めている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は健康を考えて行動している」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①避難訓練（地震・火災・不審者等）や交通安全教室を実施し、安全に行動する習慣を身に付けさせる。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 88.9% ・工夫を凝らした交通安全教室や避難訓練を行い、安全に行動する習慣づけの一助とすることができた。 【次年度の方針】 ・評価項目と主な具体的な取り組みの内容に若干の差異があるため、見直しを図る。

学 習	A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒生徒の肯定的回答80%以上	①話し合い活動や発表を授業に積極的に取り入れ、言語活動の充実を図る。 ②自主学習ノートの活用により、家庭学習の習慣化を図る。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 77.5% ・調べ学習だけでなく、話し合い活動や発表において積極的な姿勢が見られた。 【次年度の方針】 ・話し合い活動や発表を積極的に授業に取り入れ、言語活動の充実を今後も図る。 ・プレゼンテーション能力の育成も徐々に図る。
	A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒生徒の肯定的回答80%以上	①習熟度別指導や個に応じた指導を行い、基礎・基本の定着を図る。 ②自己評価を活用し、自分の学習を振り返り、落ち着いて学習に取り組ませる。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 77.6% ・教科により習熟度でクラスを分けることにより、意欲を保ちつつ個に応じた指導ができた。また、抵抗なくかがやきルームを活用できている。 【次年度の方針】 ・少なからず騒がしい生徒がいるので「授業の心得」を意識させ授業中と休み時間のけじめがつけられるように指導する。
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B4 自分の考えを豊かに表現する力と豊かな心（関心・感動・感謝・思いやり等）の育成が図られている。 【数値指標】生徒へのアンケートの「生徒は、総合的な学習発表会や文化祭などで、充実した発表ができた。」⇒保護者の肯定的回答が80%以上	①学級経営における発表・発言の指導充実と教室掲示物等を活用しての表現方法の工夫を図る ②「総合的な学習の時間」での表現方法の体験と実践発表の質の向上を図る。	A	【達成状況】保護者の肯定的回答 93.6% ・総合的な学習発表会などで表現方法を工夫し、発表の質の向上を図ることができた。 【次年度の方針】 ・日頃から発表の際は原稿を読むのではなく、堂々と話すように指導をする。
	B5 豊かな表現力を支える言語能力を向上させるため、読書の習慣化を図る。 【数値指標】教職員へのアンケートの「生徒は、朝の読書の時間・読み聞かせ・ブックトーク等を通して、読書に対する意欲を高めている。」⇒保護者の肯定的回答が80%以上	①利用しやすい図書室の環境整備と利用の促進を図る。 ②朝の読書の時間、読み聞かせ、ブックトーク等を実施し、読書に対する意欲を高め、読書の習慣化を図る。	B	【達成状況】保護者の肯定的回答 75.8% ・今年度、読み聞かせ・ブックトークは職員や図書ボランティアの方に協力してもらい、月に一度、全クラス一斉に実施することができた。 ・保護者への周知方法については工夫が必要。 【次年度の方針】 ・図書だより等が保護者へ届くように工夫する。 ・活発な読書活動を実践していることを保護者にも理解してもらえるように、家での読書を推奨する。（うちどく）

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校のアンケート結果で、昨年度と今年度の平均を比較すると、教職員・保護者・地域住民・生徒の評価は、大半の項目で、今年度の平均は昨年度の平均を上回っている。本校の取り組みは、おおむね満足できる良好な状況にあると考えられる。
- ・生徒については、「教職員は協力し、生徒のよいところを認め、教えるべきところをしっかりと熱心に指導している」「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」「先生方は、よいところを認め、指導すべきところはしっかりと指導してくれる」の評価が、いずれも90%を超えており、信頼関係のもと、落ち着いて学校生活を送っており、意欲を持って学習や部活動に熱心に取り組んでいることがうかがえる。
- ・保護者については、今年度の平均は、昨年後の平均よりも1項目を除いてすべての項目で上回っている。総合的な学習の発表会や文化祭などで、生徒の様子を実際に見てもらうことにより理解を得られたと考えている。今後も積極的に学校に足を運んでもらう努力をしていきたい。
- ・保護者の肯定的評価が、生徒の肯定的評価に比べて、「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」で、かなり低かった。保護者に、授業中の学習の様子を理解してもらえるように、授業参観や保護者会を充実させ、本校教育への理解を深める努力をしていきたい。

6 学校関係者評価

- ・あいさつ・言葉遣いについては、学校評価が上がっている。社会に出ても大切なことなので、引き続きよろしく願いしたい。
- ・「好き嫌いなく給食を食べている」の項目で、生徒・保護者・地域住民・教職員の4者ともに肯定的回答が減った。学校園4校でのセンター給食でもあるので、小中連携して食育に取り組んでいきたい。
- ・全体的に、学校評価の数値は昨年に比べて高くなったものが多い。今後も、自信を持って、取り組んでほしい。
- ・アンケート項目の内容を見ると、学校に出向くことが多い自分達の立場からも、答えにくいものが多いと感じる。それを解消させるために、オープンスクールや授業参観などの持ち方も含めた改善が必要だと思う。
- ・いじめ等を含む様々な心の問題について、きめ細かく、今後も指導してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 今年度に引き続き、上河内地域学校園の小中連携の取り組みである「あいさつ運動」を充実させ、明るく元気なあいさつを交わす学校づくりを目指していきたい。
- 上河内地域学校園のテーマ「学ぶ意欲を高め、主体的に生き生きと学ぶゆずっ子の育成」のもと、合同研修会を活用し、小中学校共通の目標に向かって努力していきたい。
- 「地域学校園カレンダー」が、地域の方々に定着し、学校の行事や取り組み、地域学校園の取り組みを知っていただく一助となった。今後も、情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進していきたい。
- ・学習において、「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」を目指し、研究会を実施して授業力の向上を目指すと共に、基礎的・基本的な事項の確実な定着を図るため、家庭学習の習慣をつけることや、学習時間の増加に向けた取り組みを推進する。
- ・今年度も、「学校だより」を定期的に発行し、自治会を通して地域にも回覧していただき、地域の方々にも本校の取り組みをお知らせすることができた。今後も、本校を知っていただくことに努力していきたい。